

# 植田小学校のESD活動

## <活動の概要>

- ・本校では、ESDを「持続可能な特色ある学校づくり」と「未来を生き抜く力を育てる問題解決的な学習」と捉えて実践に取り組み、「いきいきと学び続ける子の育成」を目ざしている。「特色ある学校づくり」については、地域、環境、福祉、防災、食育を柱に、①地域人材の活用、②お年寄り・食育・福祉にかかわる活動、③防災・SDGsにかかわる学習を行っている。

## ・活動の実際

### ① 地域人材の活用（全学年）

本校の地域教育力は、地域教育ボランティアコーディネーターをはじめ、図書館ボランティアや学習支援ボランティア、地域の企業や商店など本校の教育に携わっていただけるかたがた約80名ほどが在籍している「植田いなほ会」の支援に代表される。学校（職員）と地域の架け橋を教頭が担い、多くのかたの生の声が聞けたり、多くの施設での実体験ができたりして、学習を深めている。



### ② お年寄り・食育・福祉にかかわる活動（1、2、5年生）

1、2年生の生活科では、お年寄りのかたに栽培活動や昔遊びを教わるとともに、地域のかたの優しさにふれる機会となっている。また2年生では、出前講座でミニトマトについて学ぶことで、一人一鉢の夏野菜の栽培活動へと意欲を高めた。

5年生では、単元「人にやさしい町？植田」で、福祉についての学習を展開している。出前講座「人にやさしい街について考えよう」ではユニバーサルデザインについて学び、車椅子体験等を行うことで福祉への関心を高めた。学校や地域のバリアフリー等について調べ、誰にとってもやさしい町であるかについて学びを深めた。



### ③ 防災・SDGsにかかわる学習（6年生）

6年生は、日本各地で甚大な被害を及ぼしている大雨に備え、校区の水防災に焦点をあてた学習に取り組んでいる。避難所運営ゲーム（HUG）や洪水時に「いつ」「何をするのか」を整理した個人の防災計画「マイ・タイムライン作り」を通して、命を守るために必要な備えや行動について自分ごととして考えることができた。また、単元「SDGsでめざせ！理想の未来」では、SDGsの17の達成目標から、世界平和や環境、差別等について調べたり、地元企業等が取り組んでいるSDGsについて学んだりすることで、自分たちでも協力して取り組んでいこうという思いをもち、伝え合うことができた。

